役者評判記

チ13
3849
68

文化貳乙丑八月
但し金壹両詰

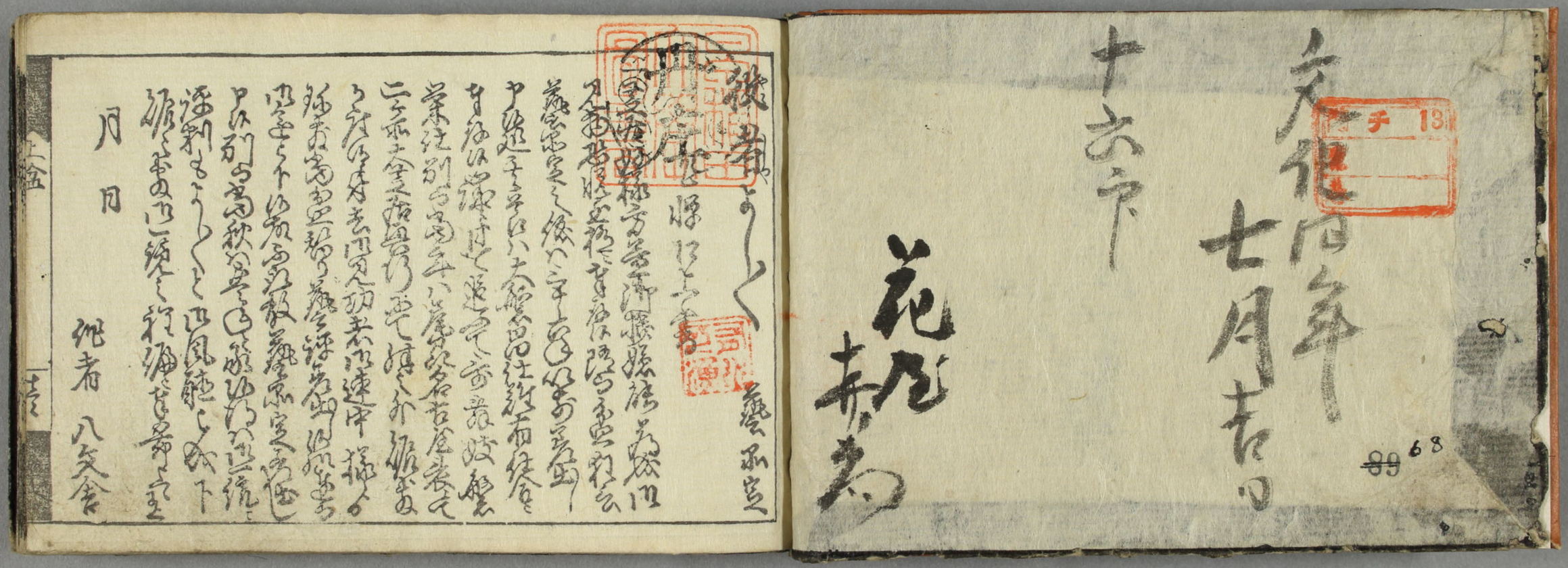
文化貳乙丑年
元治貳乙丑
ちなみ

文化二
丑年

役者ぶ
三ヶ津評
上

チ13 特
3849
68

チ多13
120



チ 13

~~89~~ 68

○目録

[illegible]のゝ[illegible]
[illegible]で[illegible]の[illegible]
切[illegible]
[illegible]編も
実の[illegible]
[illegible]の中編も
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

上上　市川團三郎　京都
上上　中山小三郎　大坂
上上　中山久吉　大坂
上上　三條本左衛門　京都
上上　嵐小次郎　大坂
上上吉　沢村源之助　大坂
上上吉　関三十郎　大坂
▲実盛物語　源氏
上上吉　源尾実盛　大坂
上上吉　師のいさのとちがいなし　中山新五郎　京都
上上吉　実歌義経千本桜　源氏

上上吉　源尾團八郎　大坂
上上吉　源尾実盛　大坂
上上　紫侍実盛　大坂
上上　女形の為ぶりいろいろ　嵐團八　京都
上上　見物〜〜格別のもてなし　中山新五郎　京都
上上　山ぶし高ぶしうらし　嵐伝三郎　京都
上上　新版さんけののうの　藤
上上　源尾実盛　京都
上上　源尾実盛　大坂
上上　三桂新五郎　京都
上上　嵐万蔵　京都
上上　中山十蔵　京都
上上　三桂十六郎　京都
上上　中山万吉　京都
上上　源尾実盛　京都

上上吉　▲義安新之郎　中村とうを　大坂　鉄格

上上吉　沢村とくもりたさぶろう　河紙　大坂　紙

上上吉　一統よりがかつてたのもた紙　中村大長　京都　机

上上吉　めりさ絵のれですがま　中村家之郎　京都　鏡

上上吉　風絵とものやうふきい　中村のり平　大坂　鉄把

上上吉　物よりのよいさつてるよい　市川團蔵　京都　鉄把

上上吉　わらべ　物のさつてのらりまの付さ　三桝家家之郎　京都　筆

上上　大号注ぐ面ガ山ゝさ　中村可六　大坂　把

上上　作る資ものつそさい　沢村宗之郎　京都　鑓

上上　つしひ猫さのたさ　山下屋武久　京都　鑓

上上　そろくゝ面白の中ゝ　沢村長之助　大坂　撥

上上　ゝよ名乳のゝ月の　義井花雲　京都　絵

上上吉　半梅　猫好ハどゝ　坂東岩右之郎　京都　絵

上上吉　ハ沢ゝさろゝ　中村藤之郎　京都　絵

上上吉　ゝ入さ　山下八右之郎　京都　絵

上上吉　ゝる　三桝徳之郎　大坂　稲妻

上上　▲京南側家のゝ　嵐亀之郎　東京　元橘

上上　ゝ　中村富市　京都　桃

一中村漆第ゝ　一芳沢さの　京都

一 嵐 久吉

▲ 大坂角の芝居名のつゞく

一 長川半蔵 一 嵐 長吉郎 一 嵐 政吉

一 萩野小三郎 一 萩野八十郎 一 長川元蔵

一 萩野雀吉 一 長川元蔵

一 柏井 之吉 一 嵐 虎七

一 姉川 源吉

▲ 惣 芝居

真上上吉 尾上 羅三郎

極上上吉 市川 團蔵

こゝケ津にて 此人の 評

▲ 道頓堀 芳沢いろは

大上上吉 芳沢 國弟

上上 山下 徳弟

上上上 山下 宗源

上上上上 芳沢 國弟

歌役 市川 文蔵

上上吉 上上吉 上上上吉 上上上上 上上上上 上上吉 上上吉 上上吉

○ [illegible]

[illegible]

文化二乙丑年二月十六日
釋一章居士　俗名　姉川彦郎　年齢　五十八才
寺ハ大坂也信法　西光寺

文化二乙丑年五月廿七日
蓮花院[illegible]妙日経　俗名　長川八義　行年　十八才
寺ハ大坂中ち町　天王寺

文化二乙丑年六月十一日
清蓮言取詠文重信士　俗名　松[illegible]　行年　三十二才
寺ハ江戸浅草[illegible]　[illegible]中　[illegible]寺

文化二乙丑年七月廿七日
清光清雲信士　俗名　柳山雛松　行年　十七才
寺ハ京たかゝ[illegible]　西蓮寺

○ 用は

[illegible]

[illegible]

▲ 熱参首

至上上吉 坂東彦三郎 京狂

大坂乃ゑ 一世一代の名初めて江戸へ出坂なれば兼ねて
うのいあぜを使ふて地紙の切ると吟ぶ
ぬのと語りて三味線の調子を乃ち孤
宏伝ふる乃物恨出たれば清姫の結髪
ふうと語りく娘姿なれば一統ほの一番迄
ぶりと京乃ゑ 初ふる上京わかれ初めを
出せうと物語り京風に合せ知恵の
上京を待ちて坂東を勧

の名を名乗りて出ずと云ふ坂東彦三郎
義経の名を名乗りて出ずと云ふ坂東彦三郎
張りて乃ち初めて江戸へ出坂なれば
京乃ゑ 初ふる上京わかれ初めを
出せうと物語り京風に合せ知恵の
上京を待ちて坂東を勧

さぎ 三郎役に成りて
あれど今と侍りて形をよりて
乃ゑ 成りて出坂なれば
さぎ 三郎役に成りて形をよりて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとおろかなるものの中にてはかの男ばかりこそ
後世をねがひ[illegible]
[illegible]切なる条件
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○ 浮補うけ重物語
ゆきの屋上蘭子
市川市蔵
中村奈良
市川團蔵
中村市蔵
山下八百蔵
坂東玉三郎
十一
○ 御賀紙道中双六
大坂八軒屋
角のまち
尾上菊五郎
市川團十郎
三枡源氏
嵐吉三郎
中村時蔵
浅尾屋国次
関三十郎
十二

上上吉　回　市川市蔵　京都

[京九九]　市川[illegible]

[illegible]

上上吉　宮　嵐雁三郎　大坂

[京九四]　[illegible]

上上十　尾上新七　京都

上上二　中山金柳　京都

上上上　市川團三郎　京都

上上上　中山小三郎　大坂

上上

上上

上上

▲ 宝永元年

上上上吉 ㊐ 浅尾工左衛門 大坂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲敬 後ろ姿

上上吉 ㊀ 濱屋國次郎 大坂

問 [illegible]

上上吉 ㊁ 濱屋文蔵 大坂

問 [illegible]

上上

上上

上上

上上

嵐園八　京都

▲ 義安郡うこ郷

上上吉 中みよし 吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

上上吉

中村大吉　高松

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

中村喜右衛門　永松

[illegible]

上上吉　中村四郎　大坂

[illegible]

上上吉　市川団之助　京都

[illegible]

上上　三枡久米三郎　大坂

[illegible]

上上　中村歌六　大坂

[illegible]

上上　の　沢村宗三郎　京都

京都　はいがのもくもくもく

[illegible]

▲ [illegible]

上 嵐 [illegible] 三郎 角藤

上 中村 [illegible] 市郎 山[illegible]

[illegible] 嵐氏はもと長崎の[illegible]
[illegible]

● 中村氏はもと[illegible]
[illegible]

● 悪い意味

直上吉 尾上[illegible]三郎 京都

極上吉 市川[illegible]蔵 京都

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

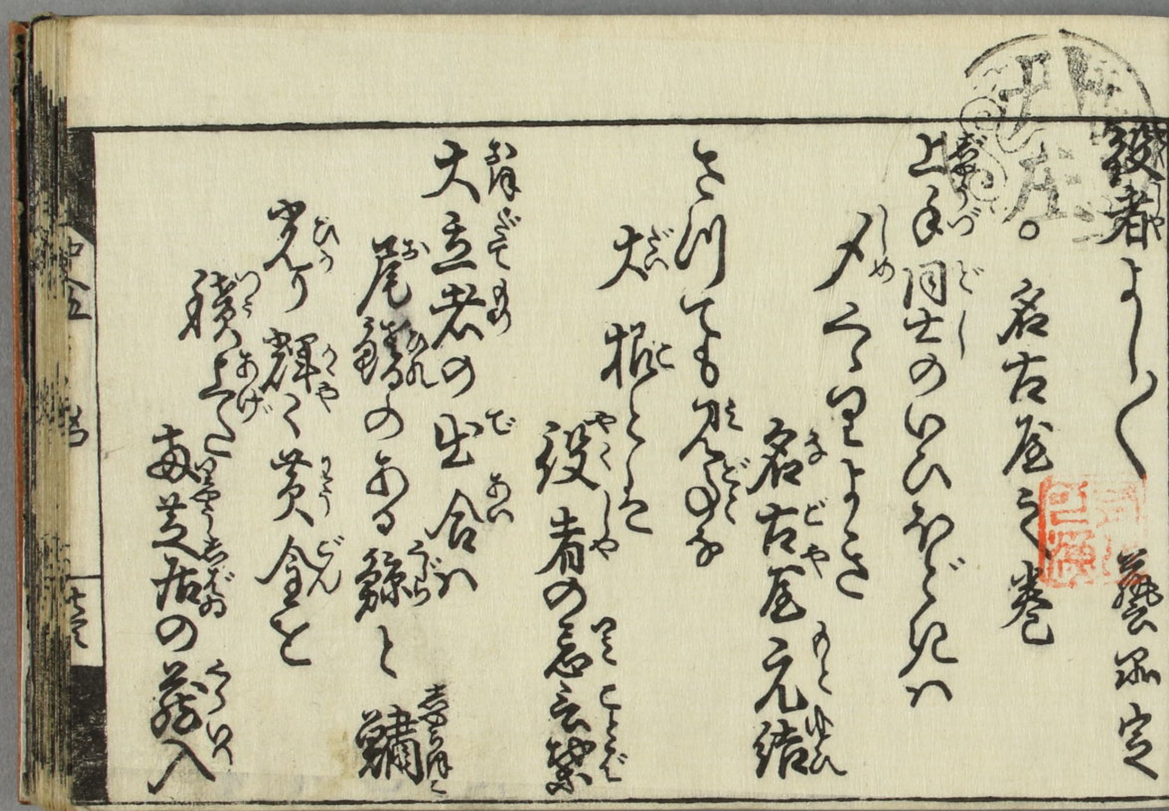
[illegible]

[illegible]

[illegible]

没者名古屋

中



後者よりこれを
名古屋元結
上方同士のひやかしに
名古屋元結
メリヤスもとりこと
名古屋元結
とりてもなかなかの
名古屋元結
役者の名元結
大坂
大坂出合
尾張のある絲と鯖
大坂名の
男女輝く美人金と
後ろあげて
あ芝居の義入

花森

尾張名古屋二丁目居住 [illegible]
名代 松平 名古屋 庄平 嵐十郎 [illegible]
大坂之部
名代 樹 撲 [illegible] 藤 庄平 濱尾乃之助

○乃之助同朝乃助ゆゑ [illegible]
▲ 熱い中を前

大上上吉 片岡 仁左衛門 濱尾 [illegible]
[illegible]

上上吉 ▲ 立役 [illegible] 嵐 三之助 嵐 [illegible]
[illegible] 濱尾 [illegible] 濱尾 [illegible]

上上吉 [illegible] 濱尾 [illegible] 小[illegible]

上上吉 [illegible] 尾上 新七 嵐 [illegible]

上上 [illegible] 中山 [illegible] 柳 [illegible]

上上 [illegible] 中山 新七 濱尾

上上 [illegible] 今村 七之助 [illegible]

上上 [illegible] 嵐 [illegible]

上 [illegible] 小川 [illegible] 濱尾 [illegible]

一上 沢村 [illegible] 沢 一上 中山 [illegible]

上上吉 中村 [illegible] 濱尾 [illegible]

▲ 実 [illegible]

上上吉 大[illegible] 濱尾 [illegible]

上上吉 中山 新[illegible] 嵐 [illegible]

上上吉 中山 文[illegible] [illegible]

▲ 敵役 [illegible]

上上吉　中村元蔵　浅尾元蔵

上上　坂東岩太郎　坂東岩太郎

上上　坂東国之助　嵐徳蔵

上上　荻川八郎助　浅尾元蔵

上上　嵐鹿之助　嵐元蔵

上　歌枝の新い赤い　すわく

上上　中村和三郎　中村門之助　浅尾元蔵

上上　沢村紅葉　沢村紅葉

上上　嵐源蔵　嵐源蔵

上上　荻川義蔵　荻川義蔵

上上　荻川鉄蔵　中村門之助

上上　中山文三郎　中村四郎兵衛

上上吉　▲若女形之部　荻川安蔵　浅尾元蔵

追分出世の日出る体　繁

上上吉　中村四郎兵衛　浅尾元蔵

上上　市川関之助　嵐松蔵

上上　嵐若雲　嵐若雲

上上　中村吉蔵　浅尾元蔵

上上　河三太郎　嵐元蔵

上上　荻川猪之助　嵐元蔵

上上　嵐松之助　嵐元蔵

上　中山福松　嵐元蔵

上　山下清之助　浅尾元蔵

上

中山文吉　[illegible]

▲五段こま形

上上　浅尾為三郎　[illegible]

上上　中山文吉郎　[illegible]

上上　[illegible]

▲熱海　[illegible]

真上吉　三段　尾上鶴三郎　[illegible]

千駄木万歳楽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大上吉

▲ 吳へ中ゝ前

竹岡仁左衛門　大須

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上

[illegible]

上上

[illegible]

[illegible]

上上

[illegible]

尾張名古屋
若宮芝居　座本　嵐十五郎

つるや平
山嵐三郎
外月大弥
中山文五郎
ゑの
尾上
鶴三郎
北条
尾上
新七
中山ようと
大西雄典弥
中山新九郎

尾張名古屋
大須芝居　座本　浅尾為三郎

源ようと
浅尾為郎
片岡
仁左
ひぬや
八蔵
大谷
友右
荻川友右
ちくや
八くま
中村
歌右

上上

仲間 [illegible]

中山新七 大須

上上

今村七三郎 大須

上上

寺垣内七三 [illegible]

仲間 [illegible]

上

川 小川吉三郎 大須

[illegible]

上

沢村岡三郎 大須

仲間 [illegible]

上

中山金次 [illegible]

[illegible] [illegible]

[illegible]

上上吉

中村歌右衛門　方角

[illegible]

[illegible]

上上書 ⊕ 大若女房

▲実説三郎

[illegible]

今ここの教主釈迦仏は法華経を説かんがためにまづ
この娑婆世界に出でたまへり。しかるに法華経
の中に説きたまふがごとく、この娑婆世界は
三千大千世界なり。その中の人民の
多きこと、あたかも恒河の沙のごとし。
かくのごとくの無量の衆生、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。
しかるに今この娑婆世界の人民、
仏の滅後に法華経を聞くことを得
ん。ここをもつてこの経を説くなり。

上上吉　中村文蔵

▲歌役者部

上上吉　中村元蔵　大阪

同人 去る文政元年の頃より江戸表にて名を高くあらはし其後三都の門人たちまちに数千人を為す中にも功抜く

上上 坂東國五郎 いろは

同人 変りやすき世を堅くと堅かりもあるべしの助なるべし八月の末に成て紅葉の色の如く変りやすき世を堅くと堅かりもあるべしの助なるべし八月の末に成て紅葉の色の如く変りやすき世を堅くと堅かりもあるべしの助なるべし八月の末に成て紅葉の色の如く変りやすき世を堅くと堅かりもあるべしの助なるべし八月の末に成て紅葉の色の如く

上上 義川八九郎 大阪

同人 岩吉 [illegible]

上 [illegible] 嵐雄 [illegible]

同人 [illegible]

上上 吉 義川岩吉 大阪

同人 [illegible]

▲若女形之部

上上 吉 義川岩吉 大阪

同人 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又一統の事は世間にてもかくれなき事なれば
ひとつ事の事ばかりにて外分を慕ふ事はな
し脇腋物語の間の事なれば
世のひとつ物語りなれば
くの間の事なれば

上上三四　中ゆとりを　あつま

同人　[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

市川門之助

上上十

嵐雲

上上上

中村芝翫

上上二

同三十郎

同 [illegible]

上上 長川猪之助 大阪

同 [illegible]

上 (小) 嵐松之助 [illegible]

上 中之助 [illegible]

上 宗十郎 大阪

上 中之助 [illegible]

同 [illegible]

▲ 悪 [illegible]

真上二言 (悪) 尾上鯉三郎 [illegible]

同 [illegible]

[illegible]

文化弐年
丑八月吉日

八文字屋八左衛門板元

作者　八文舎自笑

やまとの
中ウ之巻
下

○江戸より

▲三度春狩出張帯刀振舞

●中村屋

十月十四日 迎供養 日在信

五月五日 元若後日在信

七月十日 げいさの法堂山 日安筑

●市村屋

八月廿七日 伊達綱宗見物殿 切れる

十月廿七日 男作五馬金 筑八幡

十月廿七日 花菖蒲浮木亀山 切れる

六月廿三日 双葉々曲輪日記 三度目に切

〃 姫小松子月れ姿 切れる

源平布引滝

●江戸櫻

二月廿三日 耶六江戸櫻 市川子市 [illegible]

六月十日 草履打在言 [illegible]

七月十日 假名手本忠臣蔵 [illegible]

十段目

江戸名所花暦双紙巻第四

中村勇蔵
市村勇蔵
河原崎権之助

さくらい
ふきやち
こびさち

・永久橋

・両国橋

大上上吉　中村勇蔵

上上吉　市村八百蔵

上上吉　河原崎権之助

上上上　市川門之助　市村羽左衛門
上上　市川市之丞　市村羽左衛門
上上　市川門之助　河原崎権之助

一上　市川市之丞　小川吉太郎　中村芝翫
一上　坂田九十郎　坂東彦十郎　中村芝翫
上上吉　市川男女蔵　河原崎権十郎

平の助　安倍の義家　後の八幡太郎　女房　つまもの　浮れもぐさ　てすり

▲　寶入　魚くり　郎

上上吉　松本幸四郎　市村羽左衛門

乗馬　源氏の大将　頼朝公　義経　梶原　佐々木　三郎　五郎　武蔵坊弁慶　ふじ　ぬま　ひらつか　ばんどう　てすり

上上吉　沢村宗十郎　市村羽左衛門

双てうくまん　あれ　ゆく　梶原　佐々木　義経　いつのひらさの　ぎつね　てすり

上上吉　嵐三八　市村羽左衛門

月出勤　ずいのかつら　おつぎ　山姥　後のつらね　これを　ぎ　ぎ　とも　ぎの　ぎ　ぎ　ぎの　てすり

上上吉　嵐吉三郎　中村芝翫

奴　行逢平　桜　もぐさ　乃　ぎ　ふくてすり

上上吉　尾上菊五郎　河原崎権十郎

ぎ　ぎ　ぎ　

上上

坂東諸義　中
中村助右衛門　中
坂東義次　中
坂東陸義　中
坂東太郎　中
市川賀茂　市
沃村治兵衛　市
市川万義　市
沃村文義　市
市川桃太郎　市
沃村熊義　市
坂東宗義　河
坂東大谷次郎　河
大谷次郎　河
尾上小次郎　河
市川千義　河
市川栗義　河
坂東大吉　河

相山政治　市

坂田市之丞　中
市川雷之助　中
坂東利根義　中
市川鯉義　中
坂東太郎　中
中村城十郎　中
坂東孫義　市
鳥飼郎義　市
坂東作右衛門　市
梅山連義　市
中村五郎　市
市川四郎　河
市川雷次郎　河
市川雷次郎　河

上上

極上上吉

▲　義安

坂東吉右衛門　河
瀬川路考　中

上上吉

岩井半四郎　中村
瀬川路之助　市村
瀬川路之助　市村
瀬川路三郎　中村
小佐川七義　河
山下万次郎　市村
瀬川雅治郎　市村
中山富三郎　河

上上吉

瀬川路考　市村
瀬川路三郎　中村
小佐川七義　河
山下万次郎　市村
瀬川雅治郎　市村
中山富三郎　河

上上

上上吉

上上吉

上上吉

上上吉

上上

上上吉

上上

上上吉

上上

上上 嵐山福河

上上 隅川渡河 中

上上 栄井梅彦 中

上上 栄井竜作 中

上上 市川源之介 市

上上 中山栄作 河

上上 中山金作 河

上上 小佐川栄吉 隅川

上上吉

栄井栄吉 市

栄井栄作 中

栄井栄武 中

栄井栄作 中

栄井栄吉 市

尾上菊五郎 市

尾上菊五郎 市

尾上菊五郎

▲ 今度行公他者こ郷

中村屋

南村屋

河原崎屋

千秋万歳

○ に演

役者ようく

○ 中ウ芝居こく巻

うのいくくとうめるる

人形のこゝろ風ともち

武尊の地ゆらい

相ゆうこれ石川ともち

上ゆうの長こゝろい

人形ゑんど浦いい秋風ともち

新狂言の幕ひらく

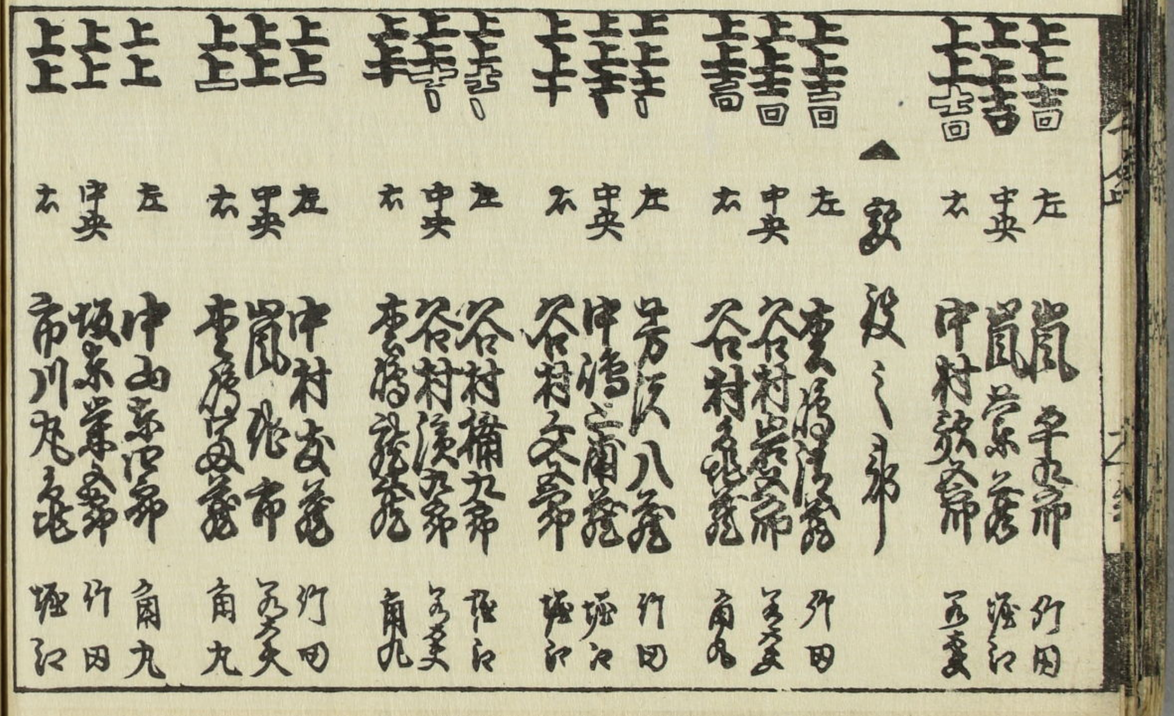
初日うこの天入ま

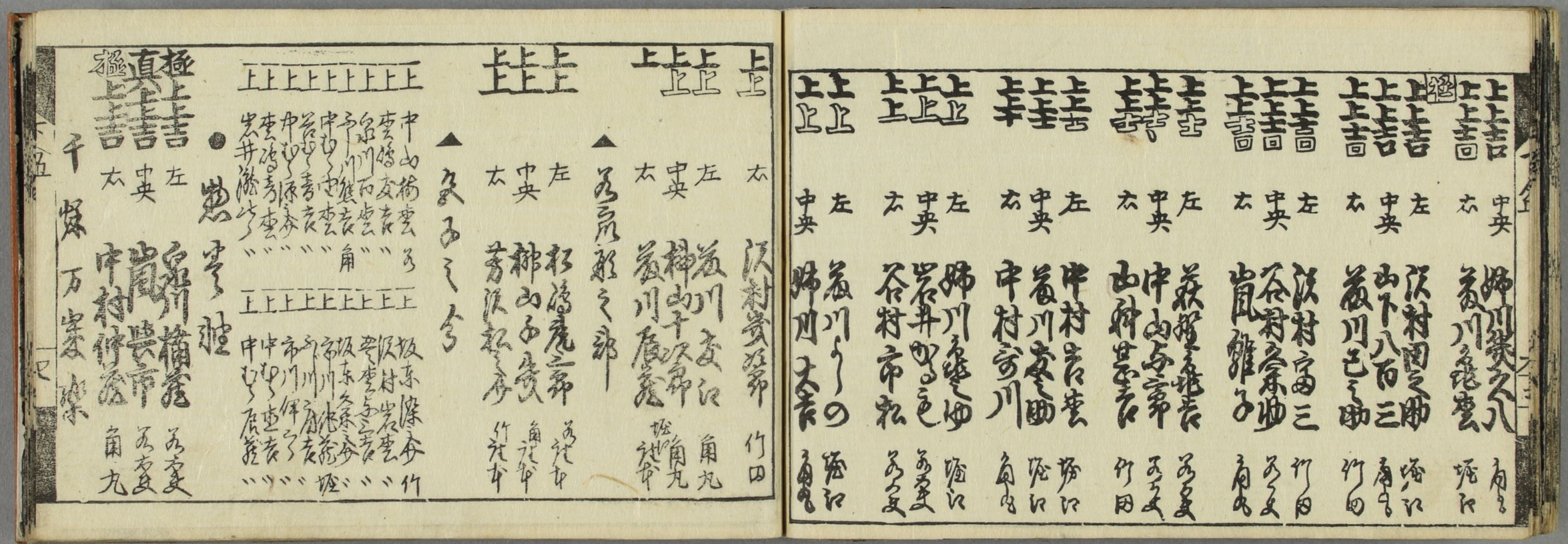
夢を四よ

あうこゝろ

大授 [illegible] 宮之義殺者良歟

名代 [illegible] 左右 [illegible] 名代 [illegible] 名代 [illegible] 名代





大坂天満天神境内中之部　細工人　亀谷登左

八月朝○長崎丸山細見圖　五冊物

▲立役実悪敵役之部

大上上吉　市川重五郎
上上吉　片岡仁三郎
上上吉　大谷友蔵
上上吉　瀬川菊之丞
上上吉　松島秀之助
上上吉　石村門太郎
上上吉　瀬川平太郎
上上吉　中山高麗
上上吉　中村高麗

▲若女形之部

上上吉　尾上梅之丞
上上吉　芳沢小紫
上上吉　荒木稲妻
上上吉　中山福雲
上上吉　中村高麗

大坂庭番年境内之部　細工人　竹田外記

七月吉日　花結千両幟　続六冊　三版目

大塔宮曦鎧

上上吉　嵐徳三郎
上上吉　山村長太郎
上上吉　中山高麗
上上吉　中村松之助
上上吉　中村歌蔵
上上吉　中山金蔵
上上吉　中山高麗
上上吉　中村新之助
上上吉　片岡政蔵
上上吉　市川伝市
上上吉　市川無市
上上吉　山村伊之助

上 竹田鉄表
上 竹田鶴蔵
上 竹田市兵
上 竹田清蔵
上 竹田小金
上 竹田平蔵
上 竹田大表
上 竹田万蔵
上 竹田一流
上 竹田安蔵

▲若女郎

上上吉 市川鉄蔵
上上吉 嵐源蔵
上上 中山沢市右
上 竹田為蔵
上 竹田市蔵
上 竹田重表

中村
奴田平
弥義二
竹田
竹田
竹田
竹田
竹田
竹田
竹田

大坂小姫江戸伊達文作
名代浅沼庄市表 名代荒木与次兵衛
七月十六日 曼陀羅源鐵 狂言作者 清元の人
けい世人 立川宗 うつの板のぐん
関取千両幟 芝川内のぐん

立役 中村表蔵 義川
〃 中村文蔵 〃 中村市松
〃 市川市表 〃 大谷猪之
〃 市川鉄八郎 〃 義川武之助
〃 岩井紫蔵 〃 市川鹿蔵
立役 中村福蔵 〃 中村為市
敵役 浅尾與蔵 義川 義川清表
〃 市川鉄表
〃 中村辰蔵
敵役 大谷万作
立役 嵐政表

京北野ト の変ニ之在

八月十五日 稲根霊場襲伐討 義貞

一 之後実験数後之部

三林光秀 上吉 竹岡国秀 上吉 嵐冠三郎 上吉 竹岡助秀 上吉 三林森義 上吉 嵐松次郎 上吉 竹岡松寿丸 上吉 坂田万義 上吉 滝尾吉秀 上吉 中村宗秀 上吉

一 義安 彫之部

泉川清之助 上吉 三林小源之 上吉 坂東孝之 上吉 柳山小之部 上吉 山下久右衛 上吉 泉川清秀 上吉

其命の急中い聴ひ

役者より

大塔宮之巻

○盆狂言外頭目録

七月十四日 義安之部 社中 北嶋宣光 三部 淀屋橋宣光 同詳略花吉野山 宿無国七時雨傘

七月十五日 竹田之部 社中 芳沢数助 夏現淀川堰 吉原細見図 置土産今織上布

八月十日 角丸之部 社中 柳山久実 比良山嶽雪見陣立 五大力恋絵

七月十六日 世話之部 社中 義川長義 有職鎌倉山 糸櫻本町育

初段ノ五段目之 上中下

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のびやうしに成なるべく●因て聞まゝに書とゝめ
形ふの是はやうく別ふの事際うに又さ
考の風てうのこゝ也でなされ所飛ばれる
てる所作とも者りとあり也是は女浦の女物
ぞのアりしてう水川物所に方ゝとゞ
と殺をかうるゝ三殺源ふ系あつてうりし
さもうふるゝ〳〵あもくく今是する上ゝ品物
あつてこゝ人ゝまてれいのひとうの事人
一藤の義風のびやうふ上ゝ大金と是ゝう
殺がらたくぶうでも強刺くうのゝ
ひ強〳〵ひうふ女形あ事と
ゝあの元ほ人里ゝう〳〵ゝ

○一すゝくおゝくせヤとい

役者用文章直指編　山東京傳作　全部式冊　浅草海苔系画

右の書ハ芝居狂言の役者用文章を指南の為に作られ候ものの外に新たに役者自筆の文面のゆゝしと流行の書ぶりを始め出ヤ物の名ハ勿論の事ハ上ハ

役者百人一首絵鏡　八文舎自笑著　全部一冊　浅草海苔如圭画

世ハ人ハ芝居の役者と生写しの絵と和歌を添へ一首の歌ハ百人一首の歌を取組ませ作られ候ものの外に新たに役者百人

八文舎自笑述　全部四冊

戯場一覧

右ハ芝居狂言の書ハ上ハ中ハ下ハ三ツ
めやうくに記す

金毘羅御利生記　今村美樹著　全部一冊

後方家乃者ハ毘羅大権現の御利生ありし
事ハ書ハ文くうくに記す

[illegible] 豆腐物語 [illegible]

[illegible]

懐中[illegible] 金沢一冊

[illegible]

[illegible] 金沢五冊

同 金沢五冊

[illegible]

同 金沢三冊

秋月下白露著

[illegible]

俳諧

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

三[illegible]

二の[illegible]

[illegible]

他者自笑

金沢二冊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

京都 淡湖居蕭山序　秋月白嶺著
江戸 雲中庵宗序　**俳論**　全部二冊
大坂 八千坊駝無序　彩刻出来
大坂 大伴 大発跋

此書俳諧の起源と迹

上代風　宗祇　宗鑑　守武
古風　貞徳　季吟　雖翁　蕉翁　梅盛　松堅
檀林風　宗因　西鶴　正風　巌蕉
江戸風　祺角　伊丹風　鬼貫
伊勢風　乙由　美濃風　支考
蕉暗菴風　淡々

古流式くのりとらを元一　俳諧
淡々教多出而　兼彩右教多
教子素とすむ者は
ら拾ひ集めたる

板元　八文字屋八右衛門